

# 事業実績シート

## 1 事業の概要

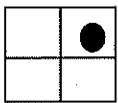
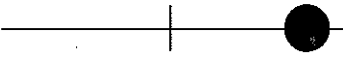
協会事業名	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
自治体(団体)事業名	平成30年度雲仙市中学生姉妹都市交流事業			
所管局部課	自治体(団体)名	所管部・課名	担当者名	連絡先(TEL)
	雲仙市	産業部観光物産課	高谷 幸	0957-38-3111
事業期間	開始年	平成23年4月1日 (7年目)		
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他[                      ]			
実施期間	招聘事業 (開始日) 平成30年7月23日		(完了日) 平成30年7月26日	
	派遣事業 (開始日) 平成30年7月31日		(完了日) 平成30年8月4日	
委託した場合の委託内容	委託先機関名		担当者名	連絡先(TEL)
	(委託内容)			
助成事業の目的 ※住民視点を踏まえて記載してください。	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)	
	雲仙市・韓国求礼郡姉妹都市交流事業参加者(両都市中学生等)		相互訪問による交流や、視察等を通じて異文化を実際に体験する事により双方の友好親善を深めるとともに、次世代を担う青少年の国際的視野を広める	
助成事業の具体的内容 ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	<p>雲仙市と、姉妹都市である韓国全羅南道求礼郡とが、相互に中学生交流団の派遣・招聘を行ない、青少年の国際交流を図る。</p> <p>招聘事業として、求礼郡の中学生訪問団12名を本市へ受け入れ、市内中学生らとともに、市内の視察、野外活動、レクリエーション、学校訪問などを行った。また、派遣事業では、雲仙市内から募集した中学生12名を求礼郡へ派遣し、現地中学生とのレクリエーション、野外活動、郡内視察などを行った。こうした相互の招聘・派遣事業を通じて、将来を担う青少年達が、互いの文化的違いを受け入れ、尊重し合うことを学ぶとともに、物事を多面的にとらえる視点を養い、異文化理解を深める事ができた。</p>			
事業開始の背景、これまでの経緯及び現状	(事業開始の背景)			
	<p>求礼郡と雲仙市は、11年前に姉妹結縁の締結をして以来、高校生同士の交流や、市民団体による相互訪問などを継続的に行ってきたが、より若い中学生という多感な年代の生徒に、本物の異文化を体験させることで、国際性豊かな人材の育成につなげ、地域の国際化のリーダーとして活躍することを期待し、本事業に取り組む事となった。</p>			
	(経緯・現状)			
	<p>参加した生徒達は、求礼郡の学生たちとの対話や活動を通じて、文化や価値観の違いを経験し、相手を尊重しながら思いやりを持って、積極的に友情を築こうという姿勢を見せ、事業を通して大きな成長が見られた。青少年の国際交流として意義深いこの事業は、今後も引き続き継続する計画である。</p>			

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費(円)		1, 194, 894	1, 761, 636	1, 750, 131					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	955, 915	1, 409, 308	1, 400, 104					
	一般財源	238, 979	352, 328	350, 027					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	中学生海外派遣事業への参加者数(男子生徒)	雲仙市内中学校 7 校から 3 名 (H29 年度は 4 名)	名	目標	7	6	6	
					実績	0	4	3	
					目標達成率 (%)	0	66	50	
	②	中学生海外派遣事業への参加者数(女子生徒)	雲仙市内中学校 7 校から 9 名 (H29 年度は 8 名)	名	目標	7	6	6	
					実績	10	8	9	
目標達成率 (%)					143	133	150		

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-)      公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価 妥当性低い      妥当性高い (-)      0      (+) 		(3) 廃止又は休止した場合の影響 (影響内容、程度等) 平成 23 年度から継続している本事業を廃止した場合、姉妹都市との活発な交流や、多文化共生に理解ある次世代の人材育成が停滞するといった影響が考えられる。

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		部活動の兼ね合いもあり、男子生徒の参加が目標より少なかった。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある		(工夫の内容・工夫の余地がない理由)	
	実施予定 期 日	H31	募集要項作成、募集事務の開始をより早めに行う事で、更なる事業周知を行い、広く広報するなどして、多くの参加を呼びかける。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない				
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない			
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		参加者は参加費用の3分の1を受益者負担として負担している。		

### 5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	中学生という多感な時期に外国を訪問し、学校訪問や野外活動、文化体験などを通じて相手国の社会の実情にふれ、同世代の学生との友情を深める事は、地域の発展を担っていく若いリーダーの育成に大変大きな意義を持つものであり、本事業を今後も継続していきたいと考えている。				